

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
輪ぎく専業	人 3	秋ぎく11・3月出荷型(2度切り)	a
		秋ぎく12・4月出荷型(2度切り)	15
		秋ぎく1・5月出荷型(2度切り)	15
		秋ぎく2月出荷型	10
		秋ぎく3月出荷型	10
		秋ぎく10月出荷型	10
		秋ぎく11月出荷型	10
		秋ぎく12月出荷型(短茎多収)	10
		夏秋ぎく6月出荷型	10
		夏秋ぎく7月出荷型	15
		夏秋ぎく8月出荷型	15
		夏秋ぎく8月出荷型(短茎多収)	10
		秋ぎく9月出荷型(シェード)	15
計	160		
経営耕地面積		水田 75 a	
		畑	
<p>1. 施設面積75aのキク専業。 2. 秋ぎくは「神馬」、夏秋ぎくは「精の一世」。 3. 加温は暖房機とヒートポンプを併用。 4. 省力機器として自走式防除機、灌水同時施肥システム(日射比例型)、防虫ネット、自動選花結束機を導入。 5. 定植は、秋ぎく9月出荷型(シート「精の一世」は購入穂使用)を除き、直挿しを導入。 6. 秋ぎく12月出荷と夏秋ぎく8月出荷作型に短茎多収栽培を導入。 7. 11月～翌5月出荷作型は環境制御栽培を導入。 8. 電照栽培としてLEDを使用。 9. 秋ぎく9月出荷作型(シート「精の一世」では、ヒートポンプ使用による夜冷栽培を導入。 10. 常時雇用あり(1名)</p>			
経営目標	1 農業総収入	65,240 千円	4 1日当たり農業所得 12,985 円
	2 農業経営費	55,231 千円	5 1人当たり年間労働時間 2,094 時間
	3 農業所得	10,009 千円	

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	作業場・倉庫	1	鉄骨・100㎡	1	千円 9,451	年 24	千円 394
	低コスト耐候性ハウス	3	低コスト耐候性ハウス・1500㎡	1	119,729	14	4,276
	連棟補強型(SRH)ハウス	3	連棟補強2型・1000㎡	1	51,302	14	1,832
	APハウス	2	育苗用・500㎡	1	9,468	10	473
	防油堤	3	1900k	1	1,614	25	65
	オイルタンク	3	1900k	1	1,536	7	110
	計					193,099	
農機具	トラクター	1	21ps	1	1,710	7	122
	土壤消毒機	1	歩行型(管理機付)	1	86	7	6
	管理機	1	6.3ps	1	206	7	15
	動力噴霧機	1	3.1ps	1	161	7	12
	軽ワゴン	1	660cc	1	1,340	4	168
	軽トラック	1	660cc	1	902	4	113
	温風暖房機(煙突セット含む)	6	100,000kcal	1	10,123	7	723
	冷蔵庫	1	3坪	1	1,282	7	92
	自動選花結束機	1	下葉取り、重量選別、自動結束	1	6,308	7	451
	灌水装置(地上液肥混入、頭上)	6	コンピュータ制御・電磁弁・日射比例	1	19,927	7	1,423
	自走式防除機	6	1式	1	10,488	7	749
	ヒートポンプ	12	10a、15aにそれぞれ2台設置	1	20,794	7	1,485
	循環扇	36	10a、15aにそれぞれ6台	1	1,240	7	89
	防虫ネット	6	1式	1	996	4	125
	電照設備(LED)	6	1式	1	10,415	7	744
環境制御装置	6	1施設に1台	1	8,026	7	573	
炭酸ガス発生装置	6	1施設に1台	1	2,508	7	179	
局所施用設備	6	1施設に1台	1	2,508	7	179	
計					99,021		7,246

3-1. 技術体系

(秋ギク11月・3月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		7月		2	10	20		・53,000本採穂
穂冷蔵		7月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	7月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
定植	直挿し	8月		4	16	64	穂 48,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		8月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		8月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		8月～9月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
灌水	頭上、地上灌水	8月～11月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		9月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		10月		1	2	2		
ピーナイン散布		10月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		10月～11月		4	60	240		
追肥		11月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		11月	自動選花結束機 軽トラック	4	42	168		
病害虫防除		8月～11月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		県病害虫防除基準による。

炭酸ガス施用		10月～2月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	15	15		
電照管理		11月～1月	電照装置	1	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・深夜4時間の電照 ・電照は前作の収穫後半から開始する。 ・消灯時の草丈の目安は60cm程度とする。
温度管理		11月～3月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 2,339ℓ 電気 18,796kw	<ul style="list-style-type: none"> ・二度切り開始後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蕾までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
整枝		12月		4	24	96		<ul style="list-style-type: none"> ・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)
追肥		12月		1	1	1	肥料	<ul style="list-style-type: none"> ・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。 ・窒素、磷酸、加里 各6kg×2
		1月		1	1	1		
灌水	頭上灌水、点滴灌水	12月～3月		1	8	8		
摘芽、摘蕾		2月		4	60	240		
ピーナイン散布		2月	動力噴霧機	1	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
収穫、出荷		3月	自動選花 結束機 軽トラック	4	39	156		
病害虫防除		12月～3月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		<ul style="list-style-type: none"> ・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		3月	軽トラック	2	16	32		
計						1,187		

3-2. 技術体系

(秋ギク12月・4月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		8月		2	10	20		・53,000本採穂
穂冷蔵		8月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	8月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
定植	直挿し	9月		4	16	64	穂 48,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		9月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		9月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		9月～11月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		9月～12月	暖房機 ヒートポンプ	1	20	20	重油 473ℓ 電気 4,971kw	・消灯前は無加温、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	9月～12月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		10月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		11月		1	2	2		
ピーナイン散布		11月、12月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		11月		4	60	240		
追肥		11月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用

収穫、出荷		12月	自動選花 結束機 軽トラック	4	39	156		
病害虫防除		9月～12月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		県病害虫防除基準による。
炭酸ガス施用		10月～3月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	18	18		
電照管理		12月～2月	電照装置	1	2	2		・深夜4時間の電照 ・電照は前作の収穫後半から開始する。 ・消灯時の草丈の目安は60cm程度とする。
温度管理		1月～4月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,848ℓ 電気 13,067kw	・二度切り開始後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蕾までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
整枝		1月		4	24	96		・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)
追肥		1月		1	1	1	肥料	・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里 各6kg×2
		2月		1	1	1		
灌水	頭上灌水、点滴灌水	12月～4月		1	8	8		
摘芽、摘蕾		3月		4	60	240		
ピーナイン散布		3月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
収穫、出荷		4月	自動選花 結束機 軽トラック	4	41	164		
病害虫防除		1月～4月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		4月	軽トラック	2	16	32		
計						1,206		

3-3. 技術体系

(秋ギク1月・5月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		9月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		9月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	9月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
定植	直挿し	10月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		10月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		10月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		10月～12月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		10月～1月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,195ℓ 電気 10,051kw	・消灯前を14℃、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	10月～1月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		11月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		12月		1	2	2		
ビーナイン散布		12月、1月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		12月		4	60	240		
追肥		12月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		1月	自動選花結束機 軽トラック	4	39	156		

病害虫防除		10月～1月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
炭酸ガス施用		10月～4月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	21	21		
電照管理		1月～3月	電照装置	1	2	2		・電球 深夜4時間 ・電照は前作の収穫後半から開始する。 ・消灯時の草丈の目安は60cm程度とする。
短日処理	シェード	3月～5月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
温度管理		2月～5月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,198ℓ 電気 9,133kw	・二度切り開始後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蕾までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
整枝		2月		4	24	96		・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)
追肥		2月		1	1	1	肥料	・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里 各6kg×2
		3月		1	1	1		
灌水	頭上灌水、点滴灌水	1月～5月		1	8	8		
摘芽、摘蕾		4月		4	60	240		
ピーナイン散布		4月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
収穫、出荷		5月	自動選花結束機 軽トラック	4	36	144		
病害虫防除		2月～5月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		5月	軽トラック	2	16	32		
計						1,191		

3-4. 技術体系

(秋ギク2月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		10月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		10月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
ビニール被覆		10月		4	6	24	ビニール 1000㎡	・5年間使用
内張カーテン		12月		4	5	20	ポリフィルム 1000㎡	
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	11月	土壌消毒機 トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、燐酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		11月		2	2	4		
定植	直挿し	11月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		11月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		11月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		11月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月～1月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	12	12		
電照管理		11月～12月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		11月～2月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,333ℓ 電気 15,862kw	・消灯前を14℃、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	11月～2月	灌水同時施肥システム	1	8	8		

追肥	12月		1	2	2	肥料	<ul style="list-style-type: none"> ・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、磷酸、加里各6kg×2回施用
	1月		1	2	2		
ピーナイン散布	1、2月	動力噴霧機	1	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾	1月		4	60	240		
追肥	1月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	<ul style="list-style-type: none"> ・液肥で窒素、磷酸、加里各6kg施用
収穫、出荷	2月	自動選花結束機 軽トラック	4	36	144		
病害虫防除	11月～2月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		<ul style="list-style-type: none"> ・県病害虫防除基準による。
後かたづけ	2月	軽トラック	2	16	32		
計					683		

3-5. 技術体系

(秋ギク3月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		10月		2	10	20		・53,000本採穂
穂冷蔵		10月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
ビニール被覆		10月		4	6	24	ビニール 1000㎡	・5年間使用
内張カーテン		12月		4	5	20	ポリフィルム 1000㎡	
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	11月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		11月		2	2	4		
定植	直挿し	11月		4	16	64	穂 48,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		11月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		12月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		12月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		12月～3月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置 設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	11	11		
電照管理		11月～1月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		11月～3月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,259ℓ 電気 17,765kw	・消灯前を14℃、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	12月～3月	灌水同時施肥システム	1	8	8		

追肥	1月		1	2	2	肥料	<ul style="list-style-type: none"> ・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、磷酸、加里各6kg×2回施用
	2月		1	2	2		
ピーナイン 散布	2、3月	動力噴霧機	1	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾	2月		4	70	280		
追肥	2月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	<ul style="list-style-type: none"> ・液肥で窒素、磷酸、加里各6kg施用
収穫、出荷	3月	自動選花結束機 軽トラック	4	42	168		
病害虫防除	12月～3月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		<ul style="list-style-type: none"> ・県病害虫防除基準による。
後かたづけ	4月	軽トラック	2	16	32		
計					750		

3-6. 技術体系

(秋ギク10月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		6月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		6月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	6月	管理機 トラクター	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、燐酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		7月		2	2	4		
定植	直挿し	7月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		7月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		7月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		7月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		7月～8月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
短日処理	シェード	8月～10月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	7月～10月	灌水同時 施肥システム	1	8	8		
追肥		8月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、燐酸、加里各6kg×2回施用
		9月		1	2	2		
ピーナイン散布		9月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		9月		4	60	240		
追肥		9月	灌水同時 施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、燐酸、加里各3kg施用
収穫、出荷		10月	自動選花 結束機 軽トラック	4	35	140		
病害虫防除		7月～10月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		10月	軽トラック	2	16	32		
計						601		

3-7. 技術体系

(秋ギク11月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		7月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		7月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	7月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
寒冷紗被覆		8月		2	2	4		
定植	直挿し	8月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		8月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		8月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		8月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	3	3		
電照管理		8月～9月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
灌水	頭上、地上灌水	8月～11月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		9月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		10月		1	2	2		
ピーナイン散布		10月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		10月		4	60	240		
追肥		10月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		11月	自動選花結束機 軽トラック	4	36	144		
病害虫防除		8月～11月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		11月	軽トラック	2	16	32		
計						610		

3-8. 技術体系

(秋ギク12月出荷型 短茎多収栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		8月		2	14	28		・60,000本採穂
穂冷蔵		8月	冷蔵庫	1	4	4		・2~3°Cで冷蔵
ビニール被覆		8月		4	6	24	ビニール 1000㎡	・5年間使用
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	8月	管理機 トラクター	4	13	52	フラワーネット 900m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		9月		2	2	4		
定植	直挿し	9月		4	24	96	穂 56,000本	・7条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		9月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		9月		2	2	4		・活着後(7~14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		9月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月~12月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせて施用を心がける。
電照管理		9月~10月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12~13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		10月~12月	暖房機	1	24	24	重油 194ℓ 電気 5,785kw	・消灯前は無加温、消灯後20~25日間を16°C、その後収穫までを14°Cで管理する。 ・昼温は25°Cを目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	9月~12月	灌水同時施肥システム	1	8	8		

追肥	10月		1	2	2	肥料	<ul style="list-style-type: none"> ・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
	11月		1	2	2		
ピーナイン散布	11月、12月	動力噴霧機	1	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾	11月		4	75	300		
追肥	12月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	<ul style="list-style-type: none"> ・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷	12月	自動選花結束機 軽トラック	4	45	180		
病害虫防除	9月～12月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		<ul style="list-style-type: none"> ・県病害虫防除基準による。
後かたづけ	12月	軽トラック	2	16	32		
計					803		

3-9. 技術体系

(夏秋ギク6月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		1月、2月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		1月、2月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	2月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
定植	直挿し	2月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		2月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		2月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		2月～4月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球形LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は4月上旬 ・消灯後11～13日後頃に3～5日程度再電照を行う。
温度管理		2月～6月		1	16	16	重油 192 電気 1,817kw	・消灯前は無加温、消灯後20～25日間を16℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
短日処理	シェード	4月～6月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	2月～6月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		3月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各3kg×2回施用
		4月		1	2	2		
ビーナイン散布		4、5月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		4、5月		4	45	180		
収穫、出荷		6月	自動選花 結束機 軽トラック	4	36	144		
病害虫防除		2月～6月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		6月	軽トラック	2	16	32		
計						549		

3-10. 技術体系

(夏秋ギク7月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		2月、3月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		2月、3月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	3月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		3月		2	2	4		
定植	直挿し	3月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		3月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		3月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		3月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		3月～5月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は5月上～中旬。 ・消灯後11～13日後頃に3～5日程度再電照を行う。
温度管理(換気)		3月～5月		1	5	5		
短日処理	シェード	5月～7月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	3月～7月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		4月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各3kg×2回施用
		5月		1	2	2		
ビーナイン散布		6月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		6月		4	45	180		
収穫、出荷		7月	自動選花結束機 軽トラック	4	36	144		
病害虫防除		3月～7月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		7月	軽トラック	2	16	32		
計						546		

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		3月、4月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		3月、4月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	4月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、燐酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		4月		2	2	4		
定植	直挿し	4月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		4月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		4月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		5月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		4月～6月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は6月上～中旬。 ・消灯後13～15日目から3日程度再電照を行う。
温度管理(換気)		4月～5月		1	2	2		
短日処理	シェード	6月～8月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	4月～8月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		5月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、燐酸、加里各3kg×2回施用
		6月		1	2	2		
ピーナイン散布		7月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		7月		4	25	100		
収穫、出荷		8月	自動選花 結束機 軽トラック	4	35	140		
病害虫防除		4月～8月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		8月	軽トラック	2	16	32		
計						459		

3-12. 技術体系

(夏秋ギク8月出荷型 短茎多収栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		3月、4月		2	14	28		・60,000本採穂
穂冷蔵		3月、4月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	4月	土壌消毒機 トラクター 管理機	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 900m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
寒冷紗被覆		4月		2	2	4		
定植	直挿し	4月		4	24	96	穂 56,000本	・7条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		4月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		5月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		5月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		4月～6月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は6月上～中旬。 ・消灯後13～15日目から3日程度再電照を行う。
温度管理(換気)		4月～5月		1	2	2		
短日処理	シェード	6月～8月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	4月～8月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		5月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各3kg×2回施用
		6月		1	2	2		
ピーナイン散布		7月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		7月		4	30	120		
収穫、出荷		8月	自動選花結束機 軽トラック	4	43	172		
病害虫防除		4月～8月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		8月	軽トラック	2	16	32		
計						559		

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	5月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		5月		2	2	4		
定植	直挿し	5月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		5月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		6月		2	2	4		・活着後(7~14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		6月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		5月~7月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4~5時間の電照 ・消灯は7月中~下旬。 ・消灯後13日目から3日程度再電照を行う。
温度管理 (夜間冷房)		7月~9月	ヒートポンプ 自動カーテン	1	3	3	電気 5.373kw	・消灯~発蕾まで、18時~7時まで夜温23℃で管理する。
短日処理	シェード	7月~9月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	5月~9月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		6月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各3kg×2回施用
		7月		1	2	2		
ビーナイン散布		8月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a莖葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		8月		4	25	100		
収穫、出荷		9月	自動選花 結束機 軽トラック	4	36	144		
病虫害防除		5月~9月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病虫害防除基準による。
後かたづけ		9月	軽トラック	2	16	32		
計						444		

3-14. 技術体系

(秋ギク親株)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(元株)台刈り		2月	刈払機	1	2	2		・秋ギクの元株は、12月出荷の切り下株を利用
ビニール被覆(育苗、親株)		3月		3	4	12	・ビニール 500m ²	
(親株)挿し芽床作り		4月、7月		2	4	8	ハ-ライト 800L ピ-トモス 400L 育苗箱(50×35×8cm)300箱	
採穂挿し芽		4月、7月		2	19	38	挿し穂 25,000本	・育苗箱に100本/箱挿し芽
親株定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用	5月、7月	土壌消毒機 管理機 トラクター	3	16	48	500m ² あたり 堆肥1000kg 苦土石灰50kg	・親株床 500m ² ビニールハウス ・窒素、燐酸、加里各5kg
親株定植		5月、7月		3	27	81		・15×15cm、4条植え ・畦幅60cm、通路50cm
摘心		5月、7月		2	13	26		
電照管理		4月～10月	電照装置	1	2	2	LED	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照
ビーエー剤散布		5月～8月	動力噴霧機	1	15	15	ビーエー剤	
病害虫防除		5月～10月	動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
計						247		

3-15. 技術体系 (夏秋ギク親株)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
夏ギク親株床準備	耕うん 整地 基肥施用	10月	管理機 トラクター	2	12	24		・親株床 500㎡ ビニールハウス ・窒素、リン酸、加里 各5kg
親株移植		10月		2	8	16	9月出荷分の切り下株	・15×15cm、4条植え ・畦幅60cm、通路50cm
親株管理	灌水、除草	10月～4月		1	6	6		
台刈り土寄せ		11月	刈払機 管理機	1	4	4		
電照管理		2月～5月	電照装置	1	2	2	LED	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照
病虫害防除		10月～4月	動力噴霧機	1	8	8		・県病虫害防除基準による。
計						60		

4. 品目の作付体系 (△直挿し、□出荷)

品目(作型)	施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋ギク1月・5月出荷(二度切り栽培)	低コスト耐候性ハウス	□	—	—	—	□					△	—	—
秋ギク9月出荷						△	—	—	—	□			
秋ギク12月・4月出荷(二度切り栽培)	低コスト耐候性ハウス	—	—	—	□					△	—	—	□
夏秋ギク8月出荷					△	—	—	—	□				
秋ギク11月・3月出荷(二度切り栽培)	低コスト耐候性ハウス	—	—	□					△	—	—	□	—
夏秋ギク7月出荷				△	—	—	—	—	□				
秋ギク10月出荷	連棟補強ハウス							△	—	—	□		
秋ギク2月出荷		—	□									△	—
夏秋ギク6月出荷			△	—	—	—	□						
秋ギク11月出荷	連棟補強ハウス							△	—	—	□		
秋ギク3月出荷		—	—	□								△	—
夏秋ギク8月出荷(短茎多収栽培)	連棟補強ハウス					△	—	—	□				
秋ギク12月出荷(短茎多収栽培)										△	—	—	□

3)秋ギク1月・5月出荷型 二度切り栽培

品目	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
採種																										
穂冷蔵																										16
定植準備																										3
定植																										48
べたがけ設置																										64
べたがけ除去																										4
電照管理	2	2	2																							4
温度管理	1	1																								2
灌水																										2
追肥																										2
追肥																										6
ピーナイン散布	3																									240
摘芽、摘蕾																										1
追肥																										156
収穫、出荷	76	78																								15
病害虫防除	2	1																								25
成酸カス施用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
電照管理																										2
短日処理																										24
温度管理	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	2															96
整枝																										2
追肥																										8
灌水	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8
摘芽、摘蕾																										240
ピーナイン散布																										6
追肥																										144
収穫、出荷																										15
病害虫防除																										15
後かたづけ																										32
計	12	80	83	38	37	36	6	5	6	17																1,191
月計	181																									

4)秋ギク2月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
採種																										
穂冷蔵																										16
ピーナイン散布																										3
内張カーテン																										24
定植準備																										20
寒冷紗被覆																										48
定植																										4
べたがけ設置																										64
べたがけ除去																										4
寒冷紗除去																										4
電照管理	1	1	1																							16
温度管理	2	2	2	2	2	2																				24
灌水	1	1																								8
追肥																										2
追肥																										2
ピーナイン散布	80	80	80																							240
摘芽、摘蕾																										6
追肥																										144
収穫、出荷																										15
病害虫防除	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	15
後かたづけ																										32
計	86	91	84	8	76	74	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	683
月計	261																									

5) 秋ギク3月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
採種																									16
穂冷蔵																									3
ビニール被覆																									24
内張カーテン																									20
定植準備																									16
寒冷紗被覆																									32
定植																									4
べたがけ設置																									4
べたがけ除去																									64
炭酸ガス施用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4
電照管理	1																								2
温度管理	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
灌水	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8
追肥	2																								2
追肥																									2
追肥																									2
ピーナイン散布																									280
摘芽、摘蕾																									1
追肥																									168
収穫出荷																									2
病害虫防除	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
後かたづけ																									32
計	5	9	4	95	102	104	8	89	84	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	746
月計	18			301			32			0				0											135
																									48

6) 秋ギク10月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
採種																									16
穂冷蔵																									3
定植準備																									52
寒冷紗被覆																									64
定植																									4
べたがけ設置																									4
べたがけ除去																									4
寒冷紗除去																									4
電照管理																									2
短日処理																									2
灌水																									8
追肥																									2
追肥																									2
追肥																									2
ピーナイン散布																									240
摘芽、摘蕾																									6
追肥																									1
収穫出荷																									140
病害虫防除																									15
後かたづけ																									32
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	601
月計	0			0			0			0				87											178
																									0
																									0

7)秋ギク11月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計		
	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	下				
採種																									16		
種冷蔵														6	5										3		
定植準備														1	1										3		
寒冷紗被覆														16											52		
定植																4									4		
べたがけ設置																64									64		
べたがけ除去																4									4		
寒冷紗除去																	4								4		
炭酸ガス施用																		4							4		
電照管理																				5	1				7		
灌水																		1							2		
追肥																		1							2		
追肥																		1							2		
ピーナイン散布																									2		
摘芽、摘蕾																									6		
追肥																									240		
収穫、出荷																									1		
病虫害防除																									144		
後かたづけ																									15		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	6	42	76	6	5	3	4	2	90	87	85	74	32	610
月計																								262			181

8)秋ギク12月出荷型/短差多収

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計					
	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	下							
採種																										28				
種冷蔵																										4				
ピーナイン被覆																										24				
定植準備																										52				
寒冷紗被覆																										4				
定植																										96				
べたがけ設置																										4				
べたがけ除去																										4				
寒冷紗除去																										4				
炭酸ガス施用																										4				
電照管理																										11				
温度管理																										2				
灌水																										24				
追肥																										8				
追肥																										2				
ピーナイン散布																										6				
摘芽、摘蕾																										300				
追肥																										1				
収穫、出荷																										180				
病虫害防除																										15				
後かたづけ																										32				
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	803				
月計																								24			322			230

9) 夏秋ギク6月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
採種		2	8	6																					16	
種冷蔵		1	2	1																						4
定植準備			24	24																						48
定植			64	64																						64
べたがけ設置			4	4																						4
べたがけ除去																										4
電照管理			1	1																						2
温度管理			1	2	1	1	4	3	3																	16
短日処理			1	1	1	1	1	1	1																	8
灌水																										2
追肥																										2
追肥																										6
ピーナイン散布																										180
摘芽、摘蕾							40	40	30	40	30															144
収穫、出荷											72	72														15
病害虫防除																										32
後かたづけ																										0
計	0	0	3	34	103	6	3	5	2	7	47	49	33	45	31	75	74	32	0	0	0	0	0	0	0	549
月計											103		109		181											0

10) 夏秋ギク7月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
採種				4	8	4																				16
種冷蔵				1	2	1																				4
定植準備					24	24																				48
寒冷紗被覆						4																				4
定植						64																				64
べたがけ設置						4																				4
べたがけ除去																										4
寒冷紗除去																										4
電照管理																										2
温度管理(換気)																										5
短日処理																										2
灌水																										8
追肥																										2
追肥																										2
追肥																										6
ピーナイン散布																										180
摘芽、摘蕾																										144
収穫、出荷																										15
病害虫防除																										32
後かたづけ																										0
計	0	0	0	5	34	105	9	3	5	1	4	4	3	66	62	64	75	74	32	0	0	0	0	0	0	546
月計											148		11		192		181									0

11) 夏秋ギケ8月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下		
採穂																									16	
穂冷蔵			4				8	4																	4	
定箱準備			1				2	1																	4	
寒冷紗被覆							24	24																	48	
定植							64	64																	64	
べたがけ設置							4	4																	4	
べたがけ除去									4																4	
寒冷紗除去										4															4	
電照管理							1	1		1															2	
温度管理(機気)							1	1		1															2	
短日処理							1	1		1															2	
灌水							1	1		1															8	
追肥							2	2		2															2	
追肥																									2	
ピーナイン散布																									6	
摘葉、摘蕾																									100	
収穫、出荷																									140	
病害虫防除							1	1		1															15	
後かたづけ																									32	
計	0	0	0	0	0	0	34	105	4	6	5	1	3	4	3	42	38	32	73	72	32	0	0	0	0	459
月計	0	0	0	0	0	5	143		12		10		112		177		0	0	0	0	0	0	0	0		

12) 夏秋ギケ8月出荷型短茎多収

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	
採穂																									28
穂冷蔵							10	8																	4
定箱準備							1	2																	4
寒冷紗被覆							26	26																	52
定植							96	96																	4
べたがけ設置							4	4																	96
べたがけ除去									4																4
寒冷紗除去										4															4
電照管理							1	1		1															2
温度管理(機気)							1	1		1															2
短日処理							1	1		1															2
灌水							1	1		1															8
追肥							2	2		2															2
追肥																									2
ピーナイン散布																									6
摘葉、摘蕾																									120
収穫、出荷																									172
病害虫防除							1	1		1															15
後かたづけ																									32
計	0	0	0	0	0	0	12	35	134	6	8	2	3	4	3	46	42	44	89	88	32	0	0	0	559
月計	0	0	0	0	0	11	181		16		10		132		209		0	0	0	0	0	0	0	0	

13) 秋ギク9月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下							
定植準備					24	24																		48							
寒冷紗被覆						4																		4							
定植						64																		64							
べたがけ設置						4																		4							
べたがけ除去						4																		4							
寒冷紗除去						4																		4							
電照管理						1																		2							
温度管理(夜間冷房)						1																		3							
短日加理						1																		2							
灌水						1																		8							
追肥						2																		2							
追肥						2																		2							
ピーナツ散布																								6							
摘芽・摘蕾																								100							
収穫・出荷																								144							
病害虫防除																								15							
後かたづけ																								32							
計	0	0	0	0	0	0	0	0	24	24	75	6	8	2	2	5	3	43	38	33	75	74	32	0	0	0	0	0	0	0	444
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	24	24	75	6	8	2	2	5	3	43	38	33	75	74	32	0	0	0	0	0	0	444	

14) 秋ギク観株

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
(元株)台刈り						2																		2						
ビニール被覆 (育苗・観株)							12																	12						
(観株)挿し芽床作り							4																	8						
採穂・挿し芽							19																	38						
観株定植準備							12	12																48						
観株定植							40																	81						
摘心							13																	26						
電照管理							1																	2						
ピーナツ散布							3																	15						
病害虫防除							2																	15						
計	0	0	0	0	0	2	0	0	12	0	4	19	12	53	18	0	5	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	247
月計	0	0	0	0	0	2	0	0	12	0	4	19	12	53	18	0	5	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	247

15) 夏秋ギク観株

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
夏ギク観株準備																								24						
観株移植																								16						
観株管理																								6						
台刈り土寄せ																								4						
電照管理																								2						
病害虫防除																								8						
計	0	0	2	0	1	2	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	12	12	18	0	0	0	0	0	0	1	80
月計	0	0	2	0	1	2	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	12	12	18	0	0	0	0	0	0	1	80

6. 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計												
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下													
うち家族労働	108	192	190	151	221	166	176	163	165	225	176	137	162	136	160	148	135	229	156	145	206	117	96	204	200	131	260	161	187	218	199	161	238	203	104	6,282	
うち常時労働	36	64	63	50	74	55	59	92	54	55	75	46	54	45	53	49	45	76	52	48	69	39	32	68	67	44	87	54	56	73	66	54	79	68	35	2,094	
うち雇用労働	27	33	33	134	176	166	127	143	94	152	202	144	28	28	28	0	0	0	74	59	67	265	141	114	74	61	44	160	116	117	253	225	180	171	154	96	3,878